

名古屋大学大学院生命農学研究科
附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）
「農場講演会」のお知らせ

名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）では、地域貢献事業の一環として、以下の講演会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第1回 7月28日（火） 午後2時00分～3時30分

「自作のIoTセンサーで可視化する作物の成長」

講師 杉浦 大輔 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

天候が大きく変化する水田や畑で、農作物がどのように成長していくのか、その変化を把握することはこれまで困難でした。しかし近年は、安価な小型のコンピューターや3Dプリンター等のデジタルファブリケーション技術を組み合わせることで、目的に合わせた独自のIoTセンサーを開発できるようになっています。本講演では、自作のIoTシステムを使って作物を取り巻く環境、光合成や水分状態などを「見える化」することで、作物の生産性の向上を目指す研究について紹介します。

場所：東郷町役場 大会議室

〒470-0198 愛知郡東郷町大字春木字羽根穴14（駐車場あり）

<http://www.town.aichi-togo.lg.jp/>

参加費：無料（事前の申し込みは不要です）

主催：名古屋大学大学院生命農学研究科

後援：東郷町

問い合わせ先：東郷フィールド事務室

電話：0561-37-0200、メール：field-c@t.thers.ac.jp

今後の農場講演会の予定

第2回 10月24日（土） 午後2時00分～3時30分

「ウイルスは味方にもなる？昆虫のウイルスを理解して活かす」

講師 浜島 りな 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

※第2回農場講演会の会場は、名古屋大学東郷フィールド（附属農場）「農業館」です。

「ウイルス」と聞いてどんなイメージが浮かびますか？新型コロナやインフルエンザのように、「こわい存在」というイメージを持つ人が多いかもしれません。でも実は、ウイルスの中には私たちの「味方」になってくれるものもいて、すでに農業や医療、そして基礎研究など、さまざまな分野で役立っています。本講演では、昆虫に感染するウイルスのしくみをひもときながら、それがどのように役立っているのか、そしてその可能性をさらに広げる研究について紹介します。